

会場4-1【長野県】信州大学教育学部附属長野中学校 発表を見た方からの感想

- はじめに完結にロシアが何を求めており、日本や世界にどのような影響があるかを示せていたことが良かったと思います。また発表の時、ハキハキと話せていたためインターネット上ではありますが分かりやすかったです。また絶滅危惧種のところでは、プレゼンシートがわかりやすく内容が工夫されていて良かったです。心の中で頷いてくださいというように、聞いている人を参加させる形は工夫されていると思いました。
- ウクライナでの戦争が私たち日本人にも大きく影響があるというのは問題だと改めて感じました。最後に提示して下さった新たな問いに対して、どう調べていきたいか、なぜその問いが浮かんだのかを示したらもっとよい発表となりそうだと思います。そしてどうやったら戦争を止めることができるかを考えたらもっと興味深い内容となるのではないかと思います。ありがとうございました。
- ウクライナ戦争の原因、日本への影響をわかりやすくパワーポイントを用いてわかりやすくまとめていた。論の展開が順序が整っていてよかった。最後に新たな問いを見つけていたのがよかった。
絶滅危惧種の原因を紹介しているのが分かりやすかった。長野県にも人間の影響で絶滅した動植物がいることを知って、動植物の絶滅の問題は他人事ではないと思った。一方的に話すのではなく、聞き手も参加できるようなプレゼンだった。
- 初めの発表では、ロシア・ウクライナ戦争の今後の展開や原因、日本への影響について詳しく調べていた。調べたことで問題に対する意識が変化しており良かった。また、発表の構成がわかりやすかった。次の発表では、生物の絶滅について、専門的なことにも踏み込んで調べており、身近な絶滅危惧種・絶滅種を例にあげることで視聴者にも危機感を持たせていて良かった。また、シナイモツゴについて初めて知り、ライチョウよりも絶滅の危険性が高いことに驚いた。次の行動を促して良い発表だった。
- ロシア、ウクライナの戦争（侵略）に対して悲惨である。という認識で終わるのではなく、戦争によって引き起こされる小麦、半導体の高騰やそれに伴う金の高騰があるという世界で起こっている副作用的な部分に目を向けるのはとても大切なことだと思います。またロシアについて一方的な見方ではなく多角的に捉えているのも物事を分析する際に大事なことだと思います。絶滅危惧種になってしまう原因とそれが原因で絶滅の危機にある生き物をワンセットで発表しているのがわかりやすかったです。絶滅危惧種の保護よりも、ほとんどの人にとっては自分の日常生活の方がはるかに大切だと感じていて絶滅危惧種については一か月に一度考えるかどうかというのが現状だと思います。絶滅危惧種のことを多くの人が自分事として捉えるための活動と、多くの人の協力がなくとも絶滅危惧種の保護ができる方法の二つ方針でアプローチが大事だと思います。
- ロシアウクライナ戦争に関して今後の問題の可能性や戦争をする理由を参考にする人を上げた上で根拠のある影響を上げていたことが良いと思った。日本が戦争とどう向き合っていけばよいのか考えるきっかけともなった。絶滅危惧種のレッドリストの区分わけやこちらに問いかける発表が聞いている人に考えさせることができるので良いと感じた。また写真と名前を一緒に示すことで印象に残り身近に危機を感じることもできるのではないかと考えた。

- ウクライナ問題についての発表:立てた問から、戦争が起こった原因から身近な問題について考えられていてよかった。保護生物についての発表:生物を保護するために、絶滅危惧種を調べてについて詳しく調べられていて良かった。また、調べたことから必要な保護活動にも参加していて良かった。
- ロシアとウクライナの戦争について私自身具体的な理由等あまり知らなかった為、発表を聞いて理由にロシアが戦争を行ったことを知ることができました。私達大学生も改めてウクライナ戦争について考えていく必要があると切に感じました。内容もちろん、話も聞き取りやすく良い発表でした。絶滅の危機に瀕している様々な動植物が現在どのような状況下に置かれているのか、また絶滅を避ける為に人々はどのような活動を行っているのかを知ることができました。ツクシカイドウやリュウキュウベンケイ等知らない植物もあった他、オオイヌノフグリが外来種であること等丁寧に説明しており、非常に勉強になりました。
- 信州大学1年です。私には留学生の友人がたくさんいます。ロシアとウクライナの戦争によって、両国から来た留学生の仲も引き裂かれてしまいました。国同士、また世界の大きな問題であり、私たち日本人も影響を受けることと同時に、戦禍にいる人々は殺され、友情は破壊されています。武力征服は言語道断許されざる行為ですが、それを踏みと留めさせる力を国際社会は持っているのか。NATOは「仲間外れ」を生み出していないか。NATOや国連は現実的に有能なのか。このように感じています。絶滅危惧種について、お恥ずかしいながら、スライドで紹介された動植物の名前をほとんど知りませんでした。「生物多様性を保全しなければ」という口だけの綺麗事を言うことは簡単です。しかし、実際にどんな動植物が絶滅しつつあり、それらがどう私たちの生活文化と関わっているのかを知らない限り、危機感を感じることはないでしょう。このような発表を通して、皆さんの意識を変えることが大切だと思います。ぜひ続けてほしいです。
- ロシアとウクライナの戦争についての発表は、ただ日本の立場で考えるだけでなく、戦争を始めたロシアの立場に立って見ているというのが良いと思いました。私自身ロシアが悪いと決めつけていた部分があったので、ロシアの立場で考えるというところを見習わなければいけないなと思いました。また、絶滅危惧種などについての発表では、発表していた方がたくさん調べてよく理解しているんだなということがとても伝わってきました。ライチョウとシナイモツゴの認知度と絶滅危惧種のレベルの違いがあるというのが、びっくりしたところでした。
- とても良い発表でした。特に、内容が終わったあとの質問の際にしっかりメモを取っている所や内容についての質問をしたところ、内容について質問されたらすぐに返せれるところがしっかりと理解出来ているのだなと感じました。
- ロシアウクライナ戦争に関しても絶滅危惧種に関しても、自分たちの生活に身近なところと結びつけてこれからのことを考えているのが素晴らしいと思いました。また、最初に話す内容を順序立てて話していることで聞きやすい発表になっていました。
- まず、皆さんがとてもはきはきした声で発表されていたので、内容が聞き取りやすかったです。ですの

で、ぜひもっと自信をもって抑揚をつけたり、間を使ったりするとより魅力的なプレゼンになると感じました。ロシアとウクライナの戦争というニュースをただ受け身でながすのではなく、理解しようと探究する姿勢が素晴らしいと思いました。実際に、ぼんすけ育成会の活動に参加しているという行動力にも感銘を受けましたし、できることから始めていこうという呼びかけにも説得力がありました。

- 発表の中では、絶滅危惧種を守る活動について紹介されていた。私はこのような活動が行われていることを知らなかったので、このような保護活動を紹介し、参加を呼びかけることはとても大切だと思った。また、最後に新たな問いを考えていてとても良かった。
- ウクライナとの戦争のことや、絶滅危惧種のことについてより詳しく調べ、またそこからの考察をすることができていてすごいと思いました。いまの自分たちにできることを考えられているという点が特に素晴らしいと思います。
- 平和ボケしている日本で、戦争について考えることは非常に意味があると思います。ロシアが不凍港を求めて戦争を始めるのは昔から変わらないですね。この戦争によってたくさんの影響があることがわかりました。はきはきとしていて聞き取りやすかったです。実際にぼんすけ育成会に参加した行動力に感心しました。参考文献も多くてよく調べたんだなと思います。スライドの字が大きくて非常に見やすかったです。
- 全体として一人一人声が出ていて聞きやすかったです。ロシアウクライナ戦争についての発表はスライドの内容も問題発見から考察し、新たな問いを導き出すなど論理的な説明でわかりやすくとても良いと思いました。また、生物多様性に関する発表では、聞き手へ反応を促し、問いかけ、そして絶滅する可能性のある動植物の名前だけでなく写真も提示するなど、聞き手の興味関心を誘うだけでなく理解に配慮した発表でとてもわかりやすかったです。
- シナイモツゴのような知名度の低い絶滅危惧種がより注目されていくといいなと思いました。日本固有種を守るためにも、まずは自分の住んでいる地域にはどんな生物がいるのか知り、外来種を無責任に野に放つことでどんな影響がそれらの生物に与えられているかなど自分たちの行動について考えることが大事だと思いました。シナイモツゴやライチョウは一度でいいので生きている自然個体が見てみたいですね。
- 発表中の姿勢に関して、ただ原稿を読み上げるのではなく、緊張しながらも楽しみながら発表を進めている様子が伝わってきて非常に好感が持てました。オンラインでは意識を向けることを忘れがちな聴衆側のこともきちんと気にしているところが良いと感じました。また、発表のスライドもとても見やすく、参考資料もちゃんと提示されているところから、準備や発表の予備知識をしっかりとっていることが分かり、この発表の日を大切にしていたことが伝わってきて良かったです。私もその姿勢を見習いたいです。